

## Nami-Aru? / Internet

### 「THE RULES OF SURFING」

文：ジョージ・カックル

僕はこの間、久しぶりに七里ヶ浜の正面に入った。最初は、いつものように駐車場の目の前の「への字」に入っていたんだけど、正面を見たらいい波が立っていたんで、パドルで向かった。その日はちょうど仕事がなく、朝、子どもを学校に送ってから、今日は何をしようかとのんびりと構えていたんだ。鎌倉に住んでいても、何も予定がない平日なんてそうそうやってこない。ましてや暇な日がいい波の日にぶつかるなんてそうそうないよ。運が良かったのかな。

で、僕は七里ヶ浜へ車を走らせた。海でしか会わない連中と久しぶりに顔を合わせて、なんだか嬉しくなった。でも、この日はサーフィンのルールを改めて考えさせてくれるひとコマがあったんだ。

正面に入ってすぐ、セットが来て1本乗った。思いのほか長く乗れていい気分だったから、いい気になってまた沖へ行ったら、また波が来てすぐ乗ったんだよね。そしたら乗ってるときにちょうど若いサーファーが僕が行きたいところ、つまりインサイドにいて目が合った。彼はとまどったんだと思うけど、一瞬動きが止まった。僕は、早く行ってくれと心のなかで思った瞬間、僕が行く方向へ彼も動きはじめたんだ。そうなる僕が波から降りなくちゃいけなくなる。ヒドいよね。さすがに僕もひと言いいたくなかった。サーフィンのルールって、それほど数はないけど、ドロップインはしないのが当然だ。奥にいて波に乗った人に優先があるってことだ。あと、パドルアウトするときには、誰かが波に乗っていて自分がインサイドにいたら、早めに自分の向かう方向を意思表示するのがルールだろう。

車だって同じことだ。対向車や歩行者と譲り合いになったときも、自分のインテンションを示したほうがいい。船も同じことだろう。これはむしろ船のルールで、船は早く方向転換できないからなんだ。海のなかでもそれが安全につながっていく。サーフィンの場合もうひとつ、よけるときは波に乗っている人の邪魔をしないように、スープのほうへよけるのが本当だ。もちろんショルダーによけるほうが楽だけど、自分が乗っている場合のことを考えれば、よく分かるはずだ。最近はこのことを忘れてる人が多いように思う。そうすれば海の事故が確実に減るはずだ。